



駒澤会だより

第23号

2015年7月29日

駒澤大学駒澤会発行



禅僧の活動と太田道灌

学長 廣瀬良弘

駒澤会の40年以上にわたる、本学学生への奨学金給付は、多くの学生たちに大きな希望と誇りを与えて頂いてきました。また、駒澤会の存在は、在校生父母(教育後援会)と卒業生(同窓会)からなる本学支援の輪をさらに広げるという大きな意義をもちます。今後も他支援団体との連携を深めて行かれることを期待いたします。

駒澤大学の歴史は今から約550年前に、江戸城を造った太田道灌が、城の近くに吉祥寺を造ったことに始まります。その吉祥寺の中に学寮(のちの梅檀林)ができましたが、江戸の大半と江戸城の天守閣を焼き尽くした振袖火事により吉祥寺と学寮は駒込に移り340年。明治15年に近代的な大学として出発して133年。そこから駒沢に移って102年です。

曹洞宗は、道元禅師が越前国(福井県)に永平寺を開いたことにはじまり、それから4代目の瑩山禅師が能登半島の羽咋に永光寺を開き、門前に總持寺を開いたことによります。とくに總持寺には、開山の瑩山禅師は短期間しか住職されず、実際の運営は2代目の峨山禅師がされました。峨山禅師は長生きをされ、多くの弟子を育成されました。五哲とも二十五哲とも称され、これらの方々が全国展開をされ、總持寺が永平寺とならんで、二大本山と称されるようになりました。これらの門人たちは、各地のお堂やお宮に住んだりしながら、山岳信仰を取り込み、旅から旅の行脚の中で得た知識を生かして活動し、坐禅修行に励む傍ら、祈祷の能力を生かし、温泉再開発などの地域開発、生前に戒名を授ける授戒会活動や葬祭活動を展開し、在地の武士だけでなく、職人や農民などにも受容され、全国に展開しました。現在1万4千の寺院を擁する最大の宗派です。このような中に太田道灌がいました。道灌は武蔵南部と相模の国で勢力を張り、江戸城の他に、川越・岩槻にも築城したとされています。

太田道灌には「七重八重 花は咲けども 山吹の みのひとつだになきぞかなしき」という「山吹の里」のエピソードがあります。狩りに出て、急な雨にあい、あるみすばらしい家に駆け込み、蓑を借りようとしたところ、家の娘に山吹の花の一枝を差し出されたので、花はいらない、と言って帰ってきた、近臣は、この歌は後拾遺和歌集にある、後醍醐天皇の皇子の中務卿兼明親王の歌で、山吹が実がつかないことから、蓑がないことをそっと知らせたものであった、ということを知らせた。道灌は、これを境に和歌の勉強をし、立派な歌人になった(『常山奇談』)、というのです。道灌は歌人でもあったのです。



明日に向けて 平成二十七年度委員総会報告

総務部部长 山田 直重

五月二十三日土曜日の午後一時より、平成二十七年度駒澤大学駒澤会委員総会が、駒澤大学深沢校舎の講義室 2-1 において開催されました。

委員総会には駒澤会名誉副会長である廣瀬良弘駒澤大学学長が出席され、ご挨拶を頂きました。駒澤会の活動の中心である学生への奨学金給付は学生に大きな力を与えていると述べられました。駒澤会へは、教育後援会などと強く連携し更なる発展に向け、協力を惜しまないとお話されました。昨年度の学生の課外活動の様子や、現在130周年記念棟の建設に向け動いている最中である事などを述べられました。駒澤大学では今年から最短で十五年かけて本部棟以外の校舎を建て替えること、仏教の大学である事の特徴を出すための工夫もしていると述べられました。また、少子高齢化社会の中で社会人教育に貢献し、駒澤大学の学生へは、学問や研究の力にプラスして生活力や人間力のある「駒澤人力」を身につけさせ、自己を見つめられ、生活力があり、仏教の思いやりを持つ人間となるよう教育を重ねているなどの駒澤大学の現状や未来に向けたお話をされました。

次に、会則に則り森屋正治駒澤会会長が議長となり議事に入りました。議題の第一項で「平成二十六年度各部活動報告の件」が行われ、第二項「平成二十六年度決算及び基金管理状況報告の件」が行われました。続けて第三項「会計監査報告の件」が行われました。ここで議長が質問等の受け付けをされました。各部活動の費用支出についての質問と、基金会計と一般会計に分かれていることについて質問がありました。これには森屋会長が、各部の活動費は予算化されていないので研修活動費に一部が含まれている、また、基金会計が一般会計と分けてあるのは、奨学金の基金を明確にするためですと説明されました。その後第三項までの議題は拍手をもって承認されました。

ここから第四項「規程の審議の件」と第五項「奨学金給付の件」の審議に入りました。来年の四月一日より駒澤会の事業変更を行う事とし、そのための規程改正案が審議されました。内容は、

- ・賛助会員と維持会員の区別をなくし、会員として一本化する。
 - ・会費は入会時、年会費ともに1万円とする。
 - ・納入会費のうち新規入会者の入会时会費納入分は基金会計に繰り入れ、それ以外の会費納入分は一般会計に繰り入れる。
 - ・会費未納者は退会とする。
 - ・会費増額分の収入は駒澤会行事の活動費、参加費等の補助に使用する。
 - ・奨学金支給額の減額。(20万円を25人に支給の計500万円から、20万円を20人に支給の計400万円)
- 以上の実施を目的に規程を改定するものです。

この件に関しましては、「奨学金の金額はなぜ400万円なのか」、「これで会員数増加に結びつくのか」、「奨学金減額は反対」、「駒澤会の収入増になるのか」など質問や意見が出ました。これらに対し森屋会長が、大学当局と相談してきた事や役員会での審議を経て、この提案内容となっていると説明をされ理解と協力を求められました。また、規程の一部の文言修正は、活動の実状と内容が合うよう来年度施行日までに役員会で審議するので一任をお願いされました。これにより第四項と第五項の審議事項は拍手をもって承認されました。

第六項の「平成二十七年度各部活動計画の件」と第七項「平成二十七年度予算案の件」が発表され、第八項「その他」のところまでの質疑と応答の後、これらの審議事項も拍手をもって承認されました。

最後に報告事項として年間行事予定と駒澤会入会者数・奨学金について事務局より報告が行われ平成二十七年度委員総会を終了しました。



平成27年駒澤会新年賀詞交歓会報告

駒澤会維持会員 富田 護
(元教育後援会監査)

平成27年2月15日午後6時より、渋谷のセルリアンタワー東急ホテルにて駒澤大学駒澤会新年賀詞交歓会が開催されました。

娘が駒澤大学を卒業してからは駒澤大学関係者の方々とはご無沙汰でした。1月の教育後援会賀詞交歓会に出席の折、次は2月15日に会いましょうと言われ、駒澤会新年賀詞交歓会の開催を知りました。勧められるままに出席することになりましたが教育後援会の現役役員の方々もいたので親しみやすかったです。

森屋正治会長の開会で始まり大谷哲夫駒澤会元名誉会長と林達也名誉教授の乾杯と続き和やかな雰囲気での会食となりました。食事大変美味でした。食後のビンゴゲームではコーヒーマーカーを戴きご機嫌な一時を過ごさせてもらいました。

皆様と楽しい時を共有できましたことに感謝します。

勿論、その後、駒澤会に入会しました。



1等の液晶テレビが当選した 露木さん



《会員紹介》阪神タイガース 江越大賀選手のお父様とお母様

今回は本年、阪神タイガースに入団された江越大賀（えごしたいが）選手のご実家である長崎県までお伺いし、ご両親さまに取材をさせて頂いた。但し、アクセスの利便性より、ご両親さまから空港まで出ていくというご提案があり、空港直近の長崎インターナショナルホテルで取材を行った。

インタビュー：江越さま、本日は駒澤会の趣旨にご賛同を頂きましてご協力ありがとうございます

ご両親：いいえ、こちらこそ遠い所までご足労を頂きありがとうございます。

インタビュー：では早速、江越大賀選手のお話をお伺いさせていただきます。

これまでは大賀選手の夏休み・冬休みの帰省がお楽しみだったと思いますが？

ご両親：いいえ、学生時代も今と同じで殆ど帰って来たこと事はありません。

逆にこちらから神宮球場によく出かけたものです。

インタビュー：大賀（たいが）くんの名前はたいへん珍しい呼び名です。

さぞかしお父様の思い出があったのでしょうかね。差支えなければお聞かせ下さい。

お父さま：私は大工をやっているものですからどうしても『大』という漢字を使いたかったのです。

インタビュー：『賀』はおめでたい字でゴロ合わせが良いですね。

お父さま：そうですね、それから土台がしっかりして育ってくれるよう『賀』の字をつけました。

インタビュー：江越選手は小さいころからピッチャーで4番の野球少年だったのでしょうか。

お父さま：いいえ、とんでもない。普通の目立たない子でした。

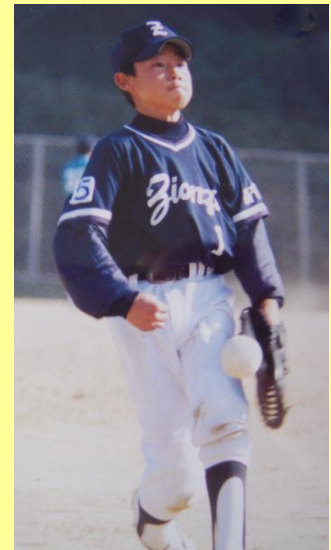
小学校は全校生徒を合わせても30人程度の小さな学校でした。

やっと1チーム出来るかどうかというソフトボール部に所属し、小2ではサードでした。まだ小さかったので、投げてもやっとファーストにボールが届くかどうかの状態でした。強化チームに入って、地区の最後の大会まで行ったのですが、残念ながら1-0で負けてしまいました。

中学校は西有家中学校へ進み軟式野球を始めました。ポジションはピッチャーで、バッターとしては、だいたい1番から4番を打っていました。



小学生時ソフトボールチームに所属する江越選手



お母さま：中学は最後の県大会で3位でした。
高校は長崎海星高校へ進学しました。

インタビュー：名門ですね。

お母さま：高校では夏の最後の大会、決勝で長崎日大さんに負けて、また優勝を逃しました。それも大賀が最後のバッターになってしまいました。

でもそれで良かったのです。たぶん、ここで勝って甲子園に行っていたら、社会人野球を選んでいたと思います。あの子にあの出来事が無ければ、大学には行っていなかったと思います。

インタビュー：ご兄弟はいらっしゃいますか。

お母さま：弟が一人おります。

弟の方は駒澤大学からのお誘いもありましたが、三菱重工長崎で社会人野球をやらせて頂いております。

インタビュー：江越選手は阪神タイガースをどう云われていますか。

お母さま：こちらでの皆さんがだいたい巨人ファンなのであまり語りませんが、タイガースの応援は凄いと云います。試合ではミスもありましたが球場と応援の凄さで圧倒されてしまったのだと思います。

インタビュー：江越選手はどのようなお子さんでしょうか。

お母さま：無口で少し近寄りがたいところがありますが、優しい子です。口数が少ないのは気持ちをうまく話せないのだと思います

インタビュー：ご主人のように九州男児なのですね。(笑)

お母さま：こちらでは九州男児という云い方はあまりしません。(笑)
でも主人には確かに似ています。

インタビュー：わたしたちが取材を計画したのは江越選手が一軍の時でした。

現在(2015年5月31日時点)、二軍で頑張っている江越選手をどのように励ましていけばよいか迷っています。



ドラフト指名当日 取材に応じる江越選手



インタビューの質問に答える 江越選手のお母さまとお父さま

お母さま：大丈夫です。あの子は雑草です。小さな頃から上がって落ちて、上がって落ちて…もう慣れてます。今度も必ず復活します。

インタビュー：江越選手への今のお気持ちをお聞かせください。

お母さま：毎日、今日の試合は何時からだろうと夫婦で心配しています。

陽が当たらないけれど、今の二軍は勉強です。

いっどこにいてもお父さんとお母さんはあなたの味方だよ。応援しているよ…とLINE(ライン)で連絡をするようにしています。今は試練の時です。あの子ならこの試練をまた乗り切ってくれるでしょう。

インタビュー：力強いメッセージありがとうございます。わたしたちもそう思っています。駒澤会で江越大賀選手を盛り上げて行くように周囲にもPRを行っていきます。ご安心ください。

今日はお忙しい中ありがとうございました

ご両親：今後もよろしくお願ひいたします。



小学2年生時の文集

＝取材を終えて『神懸った江越大賀選手』＝

- 取材中、江越大賀選手のアルバムと文集を拝見した。ひときわ目を引いたのが、小学2年生当時の文集である「将来の夢はプロ野球の選手…」とあった。お母さまの云われた雑草が試練にじっと耐え見事その大輪の花を咲かせたことはお見事というほかない。
- 江越大賀選手の活躍の軌跡を地元新聞社の記事から追いかけてみた『第92回(2010年)全国高校野球選手権長崎大会』—長崎県営野球場で行われた決勝戦は、長崎日大が長崎海星を4-1で破り、出場62チームの頂点に立った。2年連続9度目の夏の甲子園出場。長崎日大は初回到2点を先制、二回と六回に相手のエラーや8番前原稜選手の二塁打などで1点ずつを追加した。長崎海星は長崎日大を1本上回る10安打を放ったものの、打線がつながらず九回に1点を返すにとどまった—(長崎新聞抜粋) 小さな頃から目立った選手だった訳ではない…を裏付けるように、小中高と江越大賀選手は優勝という文字に無縁であり、その無念を駒澤大学で晴らしてくれたような気がする。

- ・ どうか、取材時期を一週間間違えたようである。わたしたちの取材 4 日後に一軍に上がり、タイムリー三塁打まで放ち、スポーツ新聞の紙面を飾った。但し、一週間ずらして取材を行っていたら、ご両親さまからのお話はまるで違ったものになったに違いない。

『雑草』『試練』『我慢』…そんなお言葉を伺えたのも、たまたま二軍に江越大賀選手が在籍していたからである。まさにご両親の雑草の試練というお言葉通り、「あの子は必ず這い上がります」を演出した形になった。われわれの取材タイミングはよかったのだ。ただこの一週間にシチュエーションが神懸かり過ぎて会報の編集にただ戸惑うばかりである。

- ・ これまた偶然であるが、インタビューが宿泊したホテルの部屋の窓から少し見上げるとオランダ坂が見えた。その視線をさらに上にずらすと、その先には雨に煙るマリア像が見えた。このマリア像の立つ学校こそ江越選手が高校時代を過ごした名門、長崎海星高校である。まるでマリア様が江越選手の取材に来たのなら、よく見て行きなさい…と諭しているようであった。

2014 秋 明治神宮野球大会優勝



駒澤大学硬式野球部は2014年11月14日～19日に開催された第45回記念明治神宮野球大会に優勝し大学日本一になりました。13年ぶり5回目の優勝でした。江越選手は全試合に4番センターで出場し、決勝戦でも勝利を呼び込む打点をあげました。チームの柱として江越選手がいることで、対戦相手へ圧力となったことでしょう。なお、江越選手はその年のドラフト会議において阪神タイガースから3位で指名され入団しました。今年も硬式野球部には4年生に今永投手、2年生には東野投手等、プロ野球球団から注目されている選手が所属しています。今後の硬式野球部にも注目です。駒澤大学が所属している東都大学野球リーグは春（4～5月）と秋（9月～10月）に明治神宮野球場で開催されています。駒澤大学硬式野球部の更なる活躍を期待し、応援しましょう。



卒業式当日の勧誘

広報部部長 荒井 喜久子

平成27年3月25日に駒澤大学体育館において卒業式が挙行されました。体育館で行われる卒業式もキャンパス再開発で体育館が取り壊しとなるため、この卒業式をもって最後となりました。

当日は正門から体育館まで袴やスーツ姿の卒業生で賑わっていました。卒業式は卒業生にとって大学生活最後の日。沢山の思いを胸に出席されていたことでしょう。

その中で駒澤会は、卒業生の父母を対象として駒澤会入会勧誘活動を行いました。ご父母の方々にとっても、この日は特別な1日です。「ご卒業おめでとうございます」と皆様に言葉をおかけするとともに、駒澤会を知ってもらうべく入会案内資料を配布いたしました。その中にはこの活動を機に、入会を前向きに検討するお話をいただいた方もいらっしゃいました。この勧誘活動が入会者の増加に少しでも貢献できれば、広報担当としてとても幸いなことです

駒澤会は入会者の会費を奨学金原資として、学生へ奨学金を支給しております。入会者増加により奨学金原資を確保し、奨学金の永続的な支給ができるよう、今後とも駒澤会委員として取り組んでまいります。



駒澤会奨学金について

平成27年度、下記のとおり奨学金が支給されました。

支給金額 総額500万円（20万円×25人）

奨学金授与式 平成27年7月15日（水）

出席者 学長、駒澤会執行部

※詳細は駒澤会だより24号及び、駒澤会HPでお知らせいたします。



晴れ晴れ初夏の親睦会、

笑顔で東京を大満喫！

厚生部 堀 純一郎
(教育後援会顧問)

「初夏の親睦会」は、東京三名所巡りとランチクルーズ付の日帰り「はとバスツアー」。駒澤会に入会して1年。親睦会ツアーには初めて参加させていただきました。梅雨真っ只中の6月20日(土)。待ちに待った当日は、梅雨の隙間を狙いすましたかのような晴天に恵まれ、絶好の観光日和。東京駅丸の内南口にある、はとバス東京営業所に集まった総勢16名は、晴れ晴れ笑顔とウキウキ会話のオンパレード。お茶とお菓子まで用意していただいているとはありがたや。

最初は皇居。就職で九州から東京に出てきて34年。はとバスツアーは初めてでしたが、かの有名な二重橋も初めて。この二重橋前で全員がニッコリ笑顔で記念撮影。皇居側から見る丸の内、大手町のオフィスビル群を眺めていると、皇居は喧騒とした都会の中にある、真に癒しのオアシスだと感じました。

次は、お待ちかねの東京湾ランチクルーズ。レインボーブリッジをくぐり抜け、お台場に川崎のコンビナート、羽田空港を眺めながら、ゆったりとした時間の中で、料理とお酒を堪能しました。バイキング形式の料理は期待以上の味と見栄えで皆さん大満足。食事が美味しいと会話も弾みます。

2時間強のクルーズの後、東京タワー、浅草寺と巡り完全にお上りさん気分、7時間半のツアーがあっという間に終わってしまいました。

そのまま帰らないところが駒澤会の面々。さらなる懇親を深めるために、有志で中華料理店「人人人(れんれんれん)」へ。店の名前も良し、人も良し。

今回参加して感じたのは、駒澤会の皆さんの全員が、自分のことよりも他の人のことを優先して考えて行動されていたことです。料理や飲み物を取ってきて、皆さんにいただいてもらおうという心配り。他の方々が楽しくなるようなウィットに富んだ愉快的な会話。参加者の皆さんは、保護者の会である駒澤大学教育後援会を中心になって引っ張って来られた方々が大半です。人間が出来ている。諸先輩方を見習わなければなあと実感した次第です。

全国各地の会員の皆様。駒澤会のイベントに、ぜひ参加して懇親を深めませんか。森屋会長をはじめ、企画していただきました厚生部の皆様、大変ありがとうございました。ちなみに私も厚生部に所属させていただきました。新入りですが、よろしく願いいたします。



◆◆平成28年度から駒澤会が変わります◆◆

平成27年5月23日（土）に行われました駒澤会委員総会において、駒澤会会則、駒澤会会員規程等の改正案及び、奨学金支給額の減額が承認されました。そのため、新規規程が改正施行される平成28年4月1日から駒澤会会員の皆様には以下の点が変わりますので、予めご理解いただき、今後とも駒澤会活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

変更点①

●会員種別の変更

賛助会員と維持会員の区別がなくなり、会員として一本化

※会員の種類が2つあるとわかりづらいとの言葉を多くいただいたため、会員の区別をなくします。これにより、入会募集時に駒澤会の会員活動内容が明瞭化され、新規入会者数の変化を狙っています。

変更点②

●年会費の変更

毎年度お支払いいただく年会費が5,000円から10,000円に変更

※会費増額は、駒澤会の広報活動、研修会など各種事業活動の充実、また会員の活動意欲の啓発を目的としています。

変更点③

●奨学金支給額の変更

支給額を500万円（20万円×25人）から400万円（20万円×20人）に変更

※駒澤会基金が年々減少しており、奨学金原資となる駒澤会基金を確保し、駒澤会を維持していくために止むを得ず奨学金を減額することといたしました。

各部入部のお誘い

維持会員の皆様へ

維持会員としてご登録頂いている皆様に、各部への入部をお誘いしています。

会の運営を3つの部に分かれて担当して頂くこととなりますが、**近郊の方又は遠方でも2～3カ月に一度の会議に出席いただける方は是非ご検討ください。**

皆様の入部をお待ちしています。希望される場合は、事務局：岡田までご一報ください。

TEL：(03) 3418-9189 FAX：(03) 3418-9190

総務部

駒澤会の規程や運営費について検討し、駒澤会の活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。女性もたくさん活躍しています。

広報部

会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、率直に意見を出し合い、和やかに進めています。

厚生部

行事の準備で会員が楽しく有意義な時間を過ごせるよう活動しています。旅行好きな会員も多いため、なかなか訪れる機会のない場所など考え活動しています。

基金管理委員会からのお知らせ

基金管理委員会では、昨年度の活動として、基金の運用・管理をベースに「基金管理の基本方針の検討・確認」、「会報を通じて運用状況の報告」を実施して参りました。

今年度も引き続き、会報による運用状況の報告を考えておりますが、基金の運用・管理につきまして会員の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

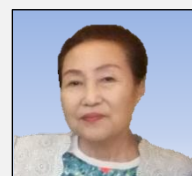
駒澤会基金運用状況のお知らせ

運用先	4月～7月までの利金	備考
みずほ銀行	16,584円	定期預金利息
世田谷信用金庫	2,396円	定期預金利息
合計	18,980円	

基金管理委員長

訃報

永年にわたり駒澤会維持会員としてご活躍頂いた濱野末子氏をご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



編集後記

今年も暑い季節がやって来ました。年々四季の移り変わりが曖昧になりつつあることに不安を感じるのは私だけでは無いと思います。それゆえに、なおさら昔からの日本の四季を大切にしたいと思う今日この頃です。同様に私が昨年駒澤会に入会したのも、教育後援会に私が参加したことにより、人との繋がりが広がり色々な四季に出会えたからです。また今後の駒大生にも駒大生活のなかで、かけがえのない四季に出会って欲しいから、人の繋がりを伝えたいから。その少しのお手伝いをしたいと思ったからです。近頃思う事に、すぐ使えるものはすぐ使えなくなります・すぐ忘れます。それは物に限ったことでなく、近頃の人との繋がりにも感じる場合があります。時代ですかね？世知辛い時代の中で、人との出逢いを大切に作る駒大の足長オジサン・オバサン集団の「駒澤会」良いじゃないですか！これからも心ある駒澤会だよりをお届けしたいと思います。今回は、規約・会費の変更等が総会で決まりました。この会を末永く良くしたい。駒澤会も広く駒澤大学の父母の方に参加して欲しいからの変更です。この便りが届くのは、真夏です。皆様にとって良い秋が来ますように。最後まで読んで頂きありがとうございました。(広報部 川岸 高志)

事務局からのお知らせ

大学行事予定

8月 1日(土)～9月15日(火)
夏季休業期間
9月16日(水) 後期授業開始日
9月19日(土) 9月卒業式
10月15日(木) 第133回開校記念日
10月31日(土)～11月1日(日)
オータムフェスティバル

駒澤会行事予定

7月15日(水) 駒澤会奨学金授与式
10月 3日(土)～4日(日)
駒澤会秋の研修会
12月上旬 駒澤会忘年会
2月 駒澤会新年賀詞交歓会(予定)

駒澤会だより 第23号

発行日:平成27年7月29日
発行者:駒澤大学駒澤会 広報部
154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1
TEL:(03)3418-9189
FAX:(03)3418-9190

駒澤会ホームページ<駒澤大学HP内>

<http://www.komazawa-u.ac.jp>
→ 在校生父母の方をクリック
→ 駒澤会をクリック

駒澤大学
駒澤会

